

CV

瀬口真司 SEGUCHI Masashi

【プロフィール】

1994年大分県宇佐市生まれ。

広島大学教育学部卒業。

立教大学大学院文学研究科日本文学専攻博士課程後期課程在学中。

拓殖大学外国語学部国際日本語学科非常勤講師（「クールジャパン論」、「ポップカルチャー論」ほか）。

【作品】

『BEAM』（書肆侃侃房、2025年12月）

「オーバード」5首（「短歌研究」2024年5+6月号）

「だから」10首（「現代短歌」2024年7月号、特集：GAZA）

「瀬口真司のローリング・トゥエンティーズ」10首（「短歌研究」2024年9月号）

「Orange (shut it up)」7首（X、2025年7月）

「ヴィジョン」5首（「現代短歌新聞」2026年2月号／167号）

「Be Mine」6首（「文藝春秋」2026年3月号）

「瀬口真司の The Revolution Will Not Be Televised」7首（「短歌研究」2026年5+6月号）

「スピーチのエクストラヴァガンザ」15首（『現代短歌パスポート7』書肆侃侃房、2026年5月）

【論文】

「無根」の花——内田百閒「アヂンコート」論（「絛説Ⅲ」17号、2020年1月）

「脱出」の列へ——塚本邦雄『日本人靈歌』論（「立教大学日本文学」125号、2021年3月）

「ゴキブリ」のバレード——岡井隆『土地よ、痛みを負え』論（「立教大学日本文学」129号、2023年1月）

「痙攣する《唇》——塚本邦雄『緑色研究』論（「立教大学大学院日本文学論叢」24号、2024年10月）

『TRIP TRAP』——「二人組」の女の可能性（泉谷瞬編『金原ひとみ（現代女性作家読本②）』鼎書房、2024年12月）

「つかのま」の火に集う者ら——寺山修司『空には本』論（「日本近代文学」112集、2025年5月）

「恋に〈なる〉とき/aiko考」（「groove theory」#01、2026年5月）

【受賞】

2021年、第3回笹井宏之賞大森静佳賞

2023年、第5回笹井宏之賞大賞

2026年、「30歳未満のフロントランナー50人が選ぶ2026年に注目すべき100人」選出（「Forbes JAPAN」2026年2月号、SELECTOR：乾遥香）